

アゴラ通信 No.253

2015年 9月

〒631-0812 奈良市秋篠早月町 10-10-408

TEL/FAX 0742-93-3485

URL/ <http://www1.kcn.ne.jp/~agora/>

↑アゴラ通信バックナンバーは上記 HP でご覧下さい。

認定 NPO 法人アゴラ音楽クラブ

URL/ <http://www.agora-mc.com/>

 <http://www.facebook.com/agoramusicclub>

記録的豪雨 河川氾濫 堤防決壊・・・

秋風が立ち始めたと思うや否やこのニュース。最近の火山噴火といい、竜巻といい、大雨といいなにか心穏やかでない…と書いている矢先に今度は東京で震度 5 の地震！この地球、大丈夫かしら。



アゴラ通信 253 号の CONTENTS

- ・ ツーリーの
続「こんな台湾を知っていますか？」 (55)
- ・ パソコンであんなことこんなこと (70)
- ・ チョイ悪親父のボランティア日記 (24)
～ 屋台で稼ぐ！ ～
- ・ Leaf' s “English at a glance” (91)
～ Bucket List ～
- ・ アレルギーの診察室から (55)
～ 角大師 ～
- ・ ドイツだより (115)
- ・ Marikolog
- ・ アゴラ太鼓結成 20 周年記念コンサート報告



夏の終わり @生駒市福祉センター

ツリー

続「こんな台湾を知っていますか？」⑤

並木由香



小林村記念公園

あの場所は今…。

今夏の大阪は、7月が大変過ごし易い天候だったので、これは楽に過ごせそうだと期待したのも束の間、8月に入ると高温続きで、例年以上に厳しい天候になりました。最高最低気温ともに台湾より大阪の方が高い日も多く、スコールの様な雨の降り方といい、体感では大阪の気候は既に亜熱帯気候みたいです。

8月というと、2009年8月8日、モーラコット台風で高雄の小林村が土石流に呑み込まれ消失した「88水災」、そして昨年8月1日深夜、高雄市街での大規模なガス爆発と、高雄が不幸に見舞われた月です。

現在、小林村があった場所は「小林村記念公園」として整備され、災害で命を落とされた181世帯の方々に想いを寄せて、181本の山桜が植樹されました。「再生再建」の願いを込めて、土石流で流された山の石を積み重ねた記念碑も建立されました。

一方、ガス爆発があった場所は、爆発で道路が巨大な溝になり、爆発直後の大雨のせいで川と化しましたが、道路はすっかり綺麗に整備されました。周辺の商店も高雄市政府の援助により、爆風で破損した壁や看板を修理、新装開店し、通り全体がピカピカの新品になりました。



そこに、今月は台湾初のライトレールが開通します。ライトレールの開通により更なる発展が期待されます。

台風假(タイフオンジア)

さて、今年は次から次へと台風が日本にやってきました。8月末には観測史上最大の強風台風15号が九州を襲い、お盆前には、とてつもなく巨大な13号と14号が同時期に日本にどンドン近づいてきて、気象予報士の解説を聞いているだけで恐ろしいほどでした。

その台風13号「蘇迪勒(ソウデロア)」が、8月7日夜から8日にかけて台湾を直撃しました。この台風は、台湾がすっぽり覆われる巨大台風だ、と台湾でも事前に散々報道され、8月7日夕方から8日は台湾各地の空港が閉鎖、新幹線は全面運休、台湾全土で「停班停课(出勤登校禁止)」になりました。日本では気象警報が発令されても、会社は休みにはなりませんし、休校の基準も学校によってマチマチですが、台湾では各市政府が決定してくれるので、分かり易いです。しかも停班停课は前日午後10時までに発表され、翌日は丸一日休みになるので、心積もりができます。停班停课の日は、万一に備えて自宅で大人しく台風が通り過ぎるのを待つ、一般的な日本人ならそうですが、台湾人は違います。彼らは停班停课の日を「台風假(台風休暇)」と呼んでいて、「ラッキー！さあて、せっかくだし、どこ行って遊ぼうかなあ〜」くらいの感覚の人が多いのです。雨風なんて何のその、雨合羽を羽織ってバイクで一っ走り、映画館やカラオケボックスに遊びに出かけます。安全確保のためのお休みなのにね…。ですから、台風の日には屋内レジャー施設が大繁盛で、そういう施設にとって台風假は稼ぎ時なのです。

ところが、今回はちょっと様子が違いました。デパートですら、11時開店のところ14時開店、と一旦発表するも、結局、従業員と顧客の安全が確保できないため終日休業、になったくらいですから、やはり相当な台風だったのです。コンサート等の催しは、数日前に中止が発表されました。8月8日、国家戯劇院での宝塚歌劇

団「ヴェルサイユのばら」台湾公演初日の舞台も中止になりました。

また、その日は台湾の「父の日」で、一家揃っての外食を予定していた人も多かったのですが、相次ぐキャンセルで、多くのレストランが止む無く休業となりました。一方、ホテルのレストランは、チェックアウトしたものの、交通手段を絶たれ、帰りたくても帰ることができない旅行客や、外出できない宿泊客で満員でした。台湾名物「夜市」も休み、飲食店も軒並み閉店で、最後の頼みの綱、コンビニに食料を求めて皆が押し寄せ、店内の食品棚が空になりました。

蘇迪勒(ソウテロア)の爪痕…

台湾の真夏の日差しと湿度は本当に不快で、信号待ちで立っているだけで、何故か、知らず知らずのうちに不機嫌になってしまうほどです。日中は出歩かないのが一番なのですが、止むを得ず外出した時は、街路樹の木陰を選んで歩くと随分楽です。ですから、垂榕（ベンジャミン）、榕樹（カジュマル）、黑板樹（七葉樹）等の大木が、どこにでも沢山植わっていますが、今回の台風では、あっちでもこっちでも、これら街路樹の太い幹が見事に折れ、あるいは根っこから倒れて道路を塞ぎました。倒木を避けて行き来する車を見ていると、今にも事故が起きそうで危険でした。台北では5千本、高雄では1万3千本の街路樹が倒れ、信号機や標識も倒れ、突風に煽られたバイクが宙高く舞い上がり、ビルの上から剥がれて飛ばされてきた看板が、あっちにもこっちにも転がっています。

また、台北の空港では、駐機してあった中華航空のジャンボジェット機が、強風に煽られて前輪が宙に浮いたと報道されました。当時、台北の風速は「17級」（台湾では風速を1～17級で表します）、これは最高レベルで、風速60m位です。ミラマーモールの大観覧車が、勝手に通常の7倍の速度でグルングルン回ってしまった、というのですから、凄い威力です。また、台中では、風力発電用の風車の根元を固定していたボルトが全て折れたり外れたりして、6基も倒壊しました。神様達も災難に遭いました。海の神様である北港朝天宮の「千里眼」と「順風耳」という、並んで立つ二体の神様のうち、「千里眼」が倒れました。高雄の龍山寺観音も倒れました。まさに、人間の想像を飛び越え、神をも超えた自然の脅威です。



今回一番大変な目にあったのは、烏来（ウーライ）という温泉地で、道路が陥没、寸断されて、2000人以上が孤立しました。台風が去った後も、台北では、水道から黄緑の臭い水しか出てこず、お米も研げず、菌も磨けない状態で、皆慌ててミネラルウォーターの買い占めに走り、売り切れ続出でした。又、この暑い最中、電気の復旧に何日もかかった所もあり、普段の生活に戻るまで随分時間がかかりました。

台北の最新観光スポット

19年振りの巨大台風の災難に見舞われた台湾ですが、思いがけない所でアイドルが誕生しました。台北の「歪腰郵筒（腰の歪んだポスト）」です。台湾のポストは緑と赤がセットで並んでいて、（緑が普通郵便、赤が航空便と速達。表裏両面に投函口があって便利ですね。）8月7日夜、突風に飛ばされた美容整形外科の看板がこのポストを直撃したため歪んでしまいました。何とも微妙な角度で、仲良く傾いて立つ姿が可愛らしいと、瞬間に評判になり、朝から晩まで記念撮影をする人達がひっきりなしにやってきて、台風直後から大騒ぎになっています。制服を着た郵便局員や、郵便局のユルキャラまで登場し、ノリノリでポーズを決めて一緒に写真を撮ってくれて、郵便局のサービス精神旺盛なこと。大勢人が集まりすぎて、交通にも影響が出たので、郵政博物館に移設予定でしたが、ネット上で「このままの状態がいい」という声が高まったため、結局、このまま郵便ポストとしての役割を果たし続けることになりました。今では「小緑（みどりくん）」「小紅（あかちゃん）」という名前まで付きました。兄と妹という設定だそうです。

郵便局は、早速「微笑萌郵筒（微笑む萌えポスト）」の記念スタンプを作り、ハガキ、便箋等グッズを発売し、フェイスブックも開設しました。そして、ポスト人気に便乗して、被災農家の方々を助けましょうと、台風で実が落ちて、商品価値の下がった大量のお月見用柚子（台湾ではお月見にポンタンみたいに大きな柚子を食べます）の通信販売を始めました。ポストの郵政博物館への移設計画も、ひょっとしたら入場料の収益増を見込んでいたのでしょうか？ 転んでもタダでは起きないというか、商売上手ですね。又、ポストのすぐ近所にある五つ星ホテル「六福皇宮（ウエスティン台北）」では、ポストを模ったケーキを販売して大好評だそうです。他にも様々なグッズが出回っているそうです。

場所は台北市中山區龍江路104號のセブンイレブン前です。最寄り駅は「南京復興」、ウエスティン台北を目印に歩いて数分です。ご旅行の際は、台北の新迷所（？）にもお立ち寄りください。では再見！



パソコンであんなこと、こんなこと

 ハロー！パソコン教室 小林 俊彦

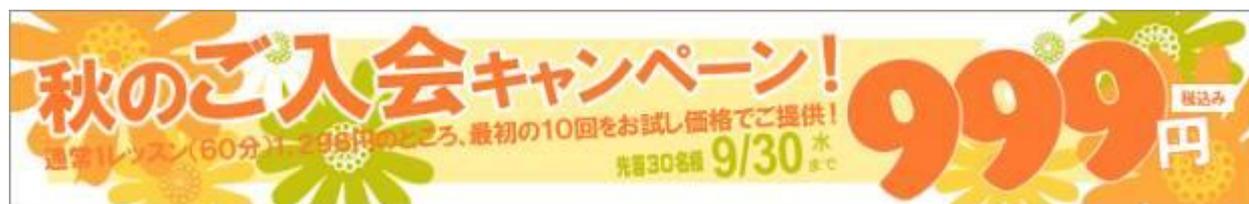
皆さん、こんにちは。ハロー！パソコン教室 富雄校の小林です。7月末から8月初旬にはとても暑くて、今年の夏はどれだけ暑くなるかと心配したのですが、お盆のあたりからはどちらかと言うと暑さは厳しくなく、夜はクーラーなしで眠れる日も多かったですね。

6月から頑張っってスポーツクラブ(と言っても私はプール専門ですけど)に通っています。仕事が早く終わった日には、ほとんど帰りに寄って泳いでいます。しかしながら・・・なかなか体重は減ってくれません。運動したことを口実に「お腹空いた〜〜〜」としっかり夕食を食べているからでしょうね。でも毎月一度通っているお医者様で測ってもらっている血液検査の結果はかなり良くなりました。主治医の先生からも褒めて貰いました。と言うことでこれからも頑張りたいと思います。

ところで、最近めだかの写真をたくさん撮りました。めだかが趣味になったわけではありません。めだかの販売をされている元生徒様からホームページ作成を依頼されまして、何回かめだかの撮影に行かせてもらいました。でもめだかの撮影って結構難しいです。小さいうえによく動いてくれて。でも、お話をお伺いするとめだかの世界も奥が深いですね。右の写真は「龍鱗」という種類らしいです。うろこが龍のように光るからついた名前だそうです。これ以外にも錦鯉のような柄のめだかであるとか、金色に光るめだかなどたくさんの種類があります。ホームページは近日中にリリースの予定ですので、完成しましたらぜひご覧くださいね。結構面白いですよ。



ハロー！パソコン教室 富雄校では、毎年9月恒例の「秋のご入会キャンペーン」を、9月末まで先着限定30名様で行っております。今回は通常1296円/1時間のレッスンを最初の10時間に限り999円/1時間にさせていただく大変お得なキャンペーンです。「新しいパソコンに買い替えたらいかがか・・・」、「もっとビジネスでパソコンを活用できるようになりたい」と言う方は、お得なこの機会にぜひご入会をご検討下さい。詳しくはお気軽に教室までお電話(0742-46-4186)でお問い合わせください。



【Windows10】

7月29日にWindows10がリリースされました。ハロー！パソコン教室の本部でも急ピッチでWindows10でのレッスンがご案内できますようにレッスンを開発中です。ご期待ください。本部でのレッスンのリリースに先立ちまして、新しい物好きの私はWindows10を使い始めましたので、簡単に印象や今までのWindowsとの違いについてご案内させていただきたいと思ひます。

Windows10について

とうとうリリースされましたね！Windows10。私はWindows7で使っていたパソコンをリリース翌日に無料アップグレードしてWindows10で使用しています。

Windows10は最後のWindowsと言われています。Windows11はもうリリースしないということなのです。今までのように2～3年に一度行われていた新バージョンのWindowsの発売はなくなり、Windows11はもうリリースしないということです。しかし、Windows11がリリースされないからと言ってWindowsの進化がないわけではなく、Windows10の名前のままで最新機能の追加や、セキュリティのアップデートは行われていきます。つまり、今までのように新しいWindowsが出たからと言って、新しいパソコンやWindowsのパッケージを購入する必要はなくなります(とは言え、OSの最新機能を使うのにハードウェアが対応していなくなり、新しいハードウェア＝パソコンを購入する必要はあると思います)。iPhoneのiOSやMacintoshのOSXでAppleが行っているのと同じような方式に変わるわけです。

Windows10は大雑把に言って、Windows7とWindows8.1を合わせたようなOSになっています。Windows8で一番よく聞く不満は、おそらく「スタートボタン」がなくなったことではないでしょうか。Windows9.5以来、ソフトの起動もシャットダウンの操作も、基本的にはすべて「スタートボタン」をクリックしてから行う操作が当たり前になっていました。ところがWindows8(8.1)は、スタート画面とデスクトップ画面にわかれて、従来スタートボタンから行っていた操作のほとんどがスタート画面で行うようになりました。その結果、スタートボタンを使い慣れた従来のWindowsユーザーからは、「アプリの起動が面倒くさい」や、「シャットダウンの操作が不便」などの不満が聞かれていました。それ以外にもコントロールパネルが見つからない(もちろん従来のものとはほぼ同じコントロールパネルは起動できるのですが、起動のさせ方が少し特殊な手順になります)なども不満のお声としてよく聞きました。

Windows10では「スタートボタン」が復活し、「スタートボタン」をクリックして出てくる「スタートメニュー」が復活しました。スタートメニューは左半分がWindows7までのスタートメニューとほぼ同じようになっていて、「すべてのプログラム」が「すべてのアプリ」の名前でありますので、ここからWordやExcelといったアプリケーションを起動できますし、電源ボタンからシャットダウンや再起動もできるようになっています。一方スタートメニューの右半分は、Windows8のスタート画面が縮小されて表示されているイメージです。表示されているタイルをクリックしてアプリを起動できますし、タイルの位置や大きさも編集して自分好みにカスタマイズすることができます。

今回は非常に大雑把にWindows10についてご紹介させていただきました。まだまだWindows10へのアップグレードでのトラブルなどのお話もお聞きしますので、マルチディスプレイの話は少しおいておきまして、次回もう少しWindows10のお話をさせていただきたいと思います。



ハロー!パソコン教室 富雄校

〒631-0076 奈良市富雄北1丁目12-4 アゴラハイム1F
TEL (0742) 46-4186 (ヨイハロー)

e-mail : info@hello-pc.co.jp

URL : <http://www.hello-pc.co.jp/>

「チョイ悪親父のボランティア日記」その24

山田穂積

～ 屋台で稼ぐ！ ～

ボランティアグループでいつも困っていること。それは、ボランティアメンバーの確保、資金確保です。今回は、資金確保のボランティアでこんなものもあるというお話です。

□■ 1 RUSHBALL って？



RUSH BALL は関西で行われる音楽フェスで、初の開催は 1999 年という歴史を持つ邦楽ロックフェスティバルです。かつては神戸で開催していましたが、2005 年より現在の大阪・泉大津フェニックスに会場を移しての開催となりました。熱く硬派な邦楽ロックアーティストたちが勢ぞろい！

これが、RUSHBALL のご紹介です。ちなみに出演者は、BIGMAMA、BRAHMAN、Dragon Ash、FIRE BALL、the HIATUS、KEN YOKOYAMA、RAZORS EDGE、RIZE、SiM、10-FEET、Keishi Tanaka とか？

皆さん一組ぐらい、ご存知のバンドはありましたか？私は、Dragon Ash しか知りません。好きな人にとっては、たまらないイベントのようです。お客様は 2 万人とのことです。

□■ 2 持ち込み禁止

この写真でご覧いただけますように、会場は野外の大広場。ここに、朝 9 時半から、夜の 9 時までいて、ライブが続くのです。持ち込み禁止は、

☆持ち込み禁止物☆

- ・ カメラ・ビデオカメラ・ドローン等の撮影機器
- ・ テープレコーダー・ウォークマン等の録音機器
- ・ ビン・カン類の飲食物・缶設置型

ビアサーバー

- ・ 傘・日傘・パラソル・タープ等、他のお客様の迷惑になる物
- ・ カセットコンロ・花火等の火薬類
- ・ スケートボード・キックボード等の危険遊具
- ・ 動物（盲導犬などの介護犬は可）

※ その他法律で禁止されている物、その他スタッフの判断により持ち込み禁止と思われる物



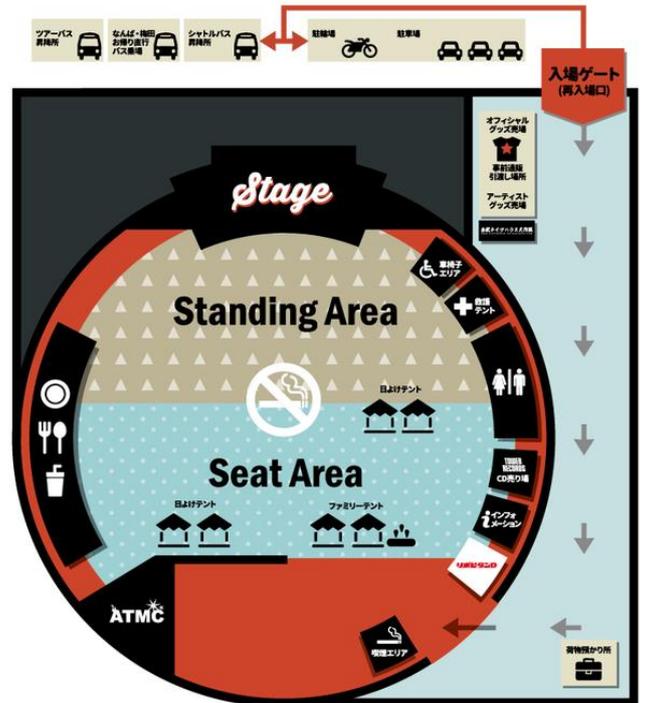
□■ 3 だから屋台がいる！

ここに、一日いるわけですから、飲み物、食べ物が必要になりますよね？

そこで、屋台の登場となるわけです。でも、面白いルールがいろいろあるのです。

- ・ スタッフは、朝 8 時に店に入り、夜は 10 時過ぎまで車で出ることはいけません。途中退場は認められていません。
- ・ 飲み物は、ビールと酎ハイはすべて 500 円、ジュース類はすべて 200 円。すべての屋台が守らなければなりません。仕入れ先も指定されています。
- ・ 飲み物は缶では渡さず、紙コップでわたします。
- ・ 食べ物は、事前に登録制で、それ以外のものは出せません。価格は自由です。でも、高い！

(例：唐揚げ 3 個 300 円、グリーンカレー麺 500 円など)



□■ 4 ここに屋台を出せるのは、アジア協会だけ！

この場所に、NGO で屋台を出せるのは、アジア協会だけなんです。他はすべてプロのお店屋さん。お店は 20 店舗ほどですが、行列が絶えないお店が多いのです。アジア協会は、一日行列が絶えません。そのお客様に対応するには、スタッフが 2 店で 16 人。このスタッフが、一日、鳥を揚げ続けたり、グリーンカレーを作ったりとほとんど立ちっぱなしで作業をします。休む間もありません。

でも、この売り上げはアジアに井戸を贈る運動や、サイクルエイド（放置された自転車を回収・修理しアジアの各地に自転車を贈る運動）などに役立てられています。

□■ 5 屋台ボランティア大募集！



毎年開催される、RUSHBALL。入場料無料で、音楽が楽しめてボランティア活動が楽しめます。いろいろなボランティアがありますが、楽しめて社会貢献ができるボランティアってなかなかないですよね？ 来年もやりますよ。ロックの好きな方、8 月末から 9 月の土日、時間を空けておいてくださいネ！

Leaf's "English at a glance" 91

Larry Dodds / 西潤子

Bucket List

前回の表現“YOLO”を覚えていらっしゃいますか。“You only live once.”「人生一度きり。楽しまなくちゃ！やりたいことはやらなくちゃ！」という意味でした。今回もそれにやや関連した表現です。2007年に「最高の人生の見つけ方」という映画（モーガン・フリーマンとジャック・ニコルソン主演）が公開されましたが、今回の表現は、その英語の原題にもなっています。

ではまず、今日の会話文から見ていきましょう。

conversation – (with your friend)

A: I've made a list.

B: A list? A shopping list?

A: No, it's a bucket list.

B: Why? Are you feeling OK?

A: I'm fine, but I want to do so many things and I never seem to have the time. I want to make sure I do them.

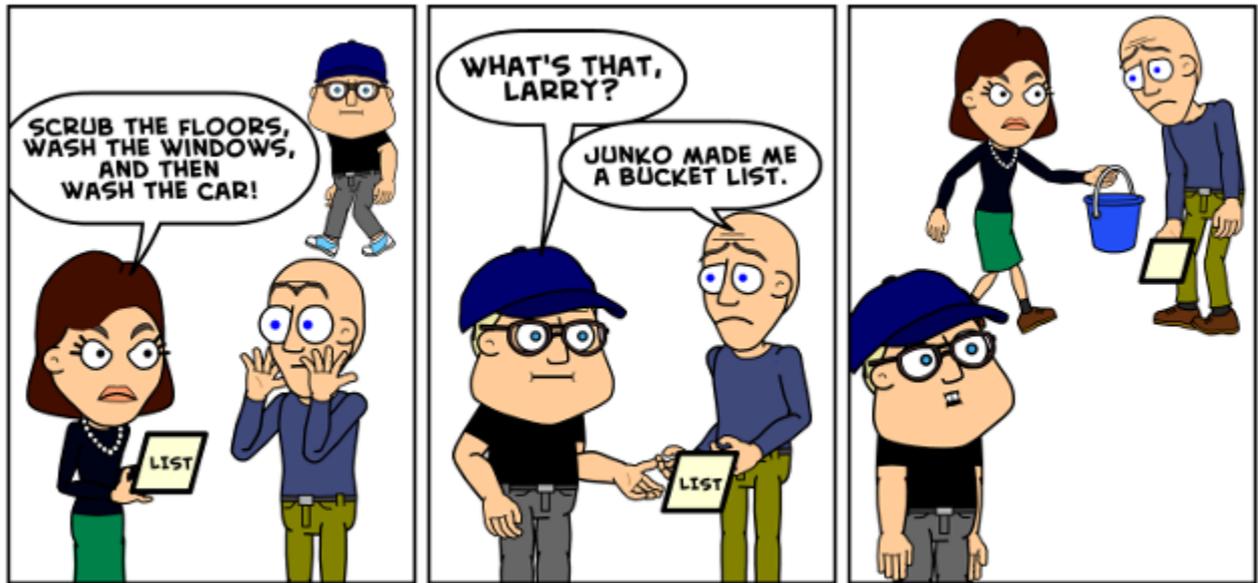
B: I see. What's number one on your list?

A: Go bungee jumping!

友人二人の会話です。Aさんが、「僕、リストを作ったんだ。」と言い、Bさんが、「リスト?買い物のリスト?」と聞いています。そのあとのAさんのセリフに今日の表現が入っています。Bucket listとは、英語で言い換えると、“a list of things you'd really like to do before you die”のようになります。つまり、「死ぬまでにしたいことのリスト」という意味になります。Aさんが、「違うよ。死ぬ前にやりたいことのリストだよ。」と言うので、Bさんが驚いて、「どうして?体調でも悪いの?」と聞いています。Aさんが、「僕は元気だよ。でも、したいことは本当にたくさんあるのに、それをする時間が全然ないように思えてね。ちゃんとやれるように確認したかったんだよ。」と言っています。Bさんが、「なるほどね。リストの1番は何だい?」と聞くと、Aさんは、「バンジージャンプしに行くこと!」と答えています。

日本語で直訳すれば「バケツ・リスト」となる変な表現ですね。どこからこの表現ができたのかLarryに聞いてみたところ、英語の俗語に“kick the bucket”という表現があり、その意味は、“die”「死ぬ」だそうです。ですから、「バケツを蹴る前の(死ぬ前の)リスト」なので、このような表現になったようです。

では、今日のコミックです。



[1コマ目] 私がリストを手に、こわい顔で、ラリーに、「床を磨いて、窓ふきをして、それから車を洗う！」と言っています。[2コマ目] それを見ていたラリーの友人が、「それは何だい、ラリー？」と聞くと、ラリーは、「潤子が僕にバケツ・リストを作ったのさ。」と言います。[3コマ目]私が、ラリーにバケツを手渡しています。ラリーはがっくりと肩を落としています。

お分かりでしょうか。ここでのバケツ・リストは、「死ぬまでにしたいことのリスト」ではなく、まさに文字通りのバケツ・リストなのです。つまり、「バケツを使ってする家事のリスト」なわけです。「今日は、水仕事をおこなさい!」、ということなのです!

冒頭でお伝えした映画の原題は、“The Bucket List”です。実は、私もまだ見ていないのですが、原題の意味が分かると、映画のストーリーもそれに関連したものだろうと、何となく想像できますね。欧米には、“bucket list”という表現があり、映画のタイトルにもなるくらいですから、多くの方がリストを作成するのかもしれない。元気なうちに自分のリストを作り、機会をみて挑戦していけたらいいですね。“bucket list”を“YOLO!”の精神で実行し、充実した人生を送りたいものです! 現実には、時間とお金と体力がないという大きい壁が立ちまわっていますが!!



奈良市富雄元町2丁目5-20(トミオプラザビル1F)

tel:0742-52-3933 fax:0742-52-3934

アレルギーの診察室から 55

— 角大師 —

土居 悟

8月のお盆の時期に、四天王寺さんの「万灯供養法要」に行ってきました。写真は黄昏（たそがれ）時の中心伽藍内で、次々とロウソクの灯が灯されていきました。きまった時間になると僧侶が般若心経を唱え、参詣の人々も配られたお経の紙を眼で追いながら唱和していました。帰りに、この期間限定の魔除けの携帯ストラップを授かってきました。デザインは角大師（つのたいし）と書いて、鬼の形をしています。角大師とは慈恵大師（じえだいし）良源（913-985）の1つのお姿で、入滅が正月三日、つまり元三（正月三日）であったことから、俗に元三大師（がんざんだいし）と呼ばれています。

コレージュ・ド・フランスの初代日本学講座教授だったベルナル・フランクさんの『「お札」にみる日本仏教』（2006年、藤原書店）を参照しますと、元三大師は比叡山延暦寺18世座主で、強力で有効な祈祷で有名であったことから、入滅後、他の高僧に例がないほど強く俗信の対象となり、その信仰は大衆にまで



広がりました。鎌倉時代から室町時代には、元三大師の肖像版画を護符として家の門口や柱に貼る習慣が大いに流行しました。おみくじの創始者といわれ、四天王寺にも中心伽藍の北西に元三大師堂があり、毎月3日が例月祭です。

元三大師の護符には、僧侶の姿のものもありますが、今回授かってきたものは角大師と言って鬼の形をしています。伝えによりますと、元三大師が悪魔降伏の行法を修せられた時に、大師がこの形に変化して見えたとき、また別の伝えでは、大師の姿を映した鏡に鬼の形が現れたとされています。魔除けの携帯ストラップですが、一見したところ痩せていてあまり怖くない、ゆるーいキャラクターのようにお見かけします。

鬼も日本ではゆるくなるという例は、日本霊異記、中巻25の「閻魔大王の使の鬼が、召されるものからごちそうをうけて、恩に報いた話」にもみられます。



講談社学術文庫版（中田祝夫訳注）から紹介しますと、聖武天皇の時代（奈良時代）に讃岐の国（香川県）山田郡に衣女（きぬめ）という人がいました。衣女は急病になりましたが、門の両側に山海の珍味を疫病神への贈り物として、置いておきました。さて衣女の病気が重くなり、閻魔大王の使いの鬼があゝの世からこの世に迎えにやってきました。鬼は衣女をあちこち探し回って疲れていたもので、山海の珍味を食べさせてもらいました。鬼はごちそうしてもらったのだから恩に報わないといけなうと言って、この衣女は連れて帰らずに、うたりの群の同性同名の衣女を身代わりにしてあゝの世に連れて帰りました。

ところが、閻魔大王はこの衣女を同性同名の別人だと見破って、最初に指名した衣女を召してくるよう鬼に命じました。うたりの群の衣女は許されて家にかえったのですが、3日過ぎていて、家ではその体を火葬にできてしまっていました。そこであゝの世の閻魔大王のところにもどって、心を宿す体を失ってしまったので、もうよりどころがありませんと訴えると、山田郡の衣女の体がまだ残っているので、その体を使うようと命じられました。このようなわけで山田郡の衣女の体は、うたりの群の衣女の心を宿して生き返りました。生き返ってから、山田郡の両親に、私の家は山田郡でなくうたりの群にあると申しました。そして、うたりの群の両親のところに行くと、私たちが子はずでに火葬にできていると言われたので、衣女は閻魔大王のところでのいきさつを詳しく話しました。話をきくとどちらの両親ももともとだと信じたので、この衣女は4人の両親をもち、両家の財産をもらいうけました。著者は「ごちそうを用意して、鬼に供え物をするのはよいことだ」という教訓でこの話を結んでいます。

日本霊異記は奈良時代の薬師寺の僧である景戒（きょうかい/けいかい、生没年不詳）によって、僧の大衆向け説法の素材として編まれたと思われます。そのため、著者が語る話の内容は、必ずしも仏教の教えとは関係なく、聴衆の考えや好みも反映していたのかもしれませんが、景戒は妻子もおり、俗っぽい人だったのでしょう。

角大師は魔除厄除のみならず、学業成就・合格祈願のご利益でも篤く信仰されてきました。アゴラ通信関係者の学業成就にもご利益がありますように。

ドイツだより 115

新田 イエルマー 淑子

EU がギリシャ問題で半年近く、すったもんだしている間にも3日とあげず中東、アフリカからの難民がヨーロッパへと命がけの旅をするニュースは報道されていました。それはイタリア、ギリシャへ最短距離の地中海を渡ってなんとか辿り着こうと、近海用の極簡単な漁船やゴムボート (!) に乗り込めるだけ乗り込んで、天候はじめあらゆる条件に左右されながらの、文字通り命がけの航海なのです。

2013年にイタリア、ランペドゥーザ島沖で難民船が沈没、360人以上の死者が確認された事はまだ記憶に新しいですが、当時イタリア政府は漁師たちに救助を求める難民を助ける事を禁止していたというのです。そこですぐに民間の救助船が組織されましたが、世論も当然高まって (フランチェスコ法皇が現地にかけて世界に呼びかけた事も多いに話題になりました)、EU の政治家達も難民問題に真剣に取り組まなくてはという姿勢を明らかにしたにもかかわらず、具体的な対策が進む前に瓶の水が溢れて収集がつかなくなってしまうというのが現状です。このところ連日、何千、何万という数の難民が大移動を続けているのですから。



特にイスラム国の侵攻がイラク、シリアに及んで、それだけでなくとも2011年からの内戦で非常事態が続いて疲弊し、危険にさらされているシリア市民たちが大量にヨーロッパに逃亡して来ているのです。

ドイツ政府は今年一年の難民受け入れ一亡命申請者を40万人と予想していたのですが、現在では年末までに80万人に昇ると発表しています。EUの中でも、難民を多く受け入れているのはドイツ、スウェーデン、次いでフランスですが、先週はどうとうイギリスのキャメロン首相が世論に押される形で、シリア難民の受け入れ枠を広げ

ると声明しました。EU内で受け入れ規準を設けて義務付けるべきという案に対し、東欧のポーランド、チェコ、スロヴァキア、ハンガリーの4カ国がそろって反対を表明、特にハンガリーは着々と右寄り路線を進めているオルバン政権が、国境閉鎖に踏み切って、軍隊を配して強攻策を採っています。すでに収容されている人達の滞在条件もひどいようで、ブダペスト易にも何の設備もないままに何百人も引き止められている様子が伝えられました。皆ドイツに辿り着くのが目的で、”Germany, Germany!”とシュプレヒコールで抗議していました。26年前東独から西独に逃げてくる人達がハンガリーを通るのが一番確実で安全、最終的に当時の政府が国境を開放したという史実を想うと、大変皮肉な気がします。

それにしても問題なのは難民たちをヨーロッパへと仲介する不法な組織があるという事です。なければの財産をはたいて高い仲介料を払い、子供だけでも安全で未来のある土地へと、危険な旅に出す親た

ちも数知れません。目的地まで運んでもらえず、何ヶ月も徒歩でやって来たという10代の少年達のインタビューを見ました。また結局は人身売買と変わらず、売春を強いられてそのままという例も当然あるのです。先週はオーストリアの国境で捨て去られたトラックの中に70人もが熱さと餓え渴きのため亡くなっているのが発見されました。

こういう悲惨なドラマが毎日これでもか、といわんばかりにメディアを通じて伝えられています。海辺に溺れて流れ着いた幼いシリアの男の子の痛ましい写真は世界中を駆けめぐりました。映画の一コマを見て涙する以上の何か、我々に出来る事はないのでしょうか？

8月に入って我が町 Wessling にも体育館や旧消防署の建物に270人を受け入れたそうです。ボランティアを申し出た人がすぐ100人あったそうですが肝心の役所の方が全く準備が出来ていず、対応できない状態だったとか。

うちのような小さいコミュニティでもこの状態です。ミュンヘン中央駅にも毎日1000人単位で到着しているとの事。法的登録、受け入れ対策に大わらわで、やはり大勢のボランティアの活躍と寄付で今のところ乗り切ってるのですが、実際法的規制を緩めない事には仮設住宅の建設や、食料の配給などもままならないとか。

8月後半には難民受け入れ反対のデモもエスカレートして、収容施設への放火事件が相次ぎましたが、その事で却って大多数の市民の現実意識が目覚めたのか、とにかく行動して支援の手を伸べなければと、9月に入ってからは各地のボランティアの勢力的な活動や、市民のイニシアチブに依る日常の歩み寄り一交流の集いやお祭りなどが紹介されています。

苦難を乗り越えてようやく亡命申請登録にこぎつけた人達は、運がよければ普通の家屋に、悪くても寄宿舍のような集団施設に振り当てられ、月々140ユーロの滞在費を給与されるのですが、正式な許可が下りるまで働く事が出来ません。おまけにこれまで、その審査、手続きに何年もかかるのが普通でした。最終的に許可されなければ、強制送還されます。入国した時は幼児で、ドイツで学校に通い、何年も経ってからほとんど知らない”故国”に何の保証もなく戻らなければならぬ運命にある人たちも数多いのです。

わずかの支援金で“待つ事”だけが日常の、言語も習慣も異なる人達同士で問題が起きるのも自明の事なら、そういう事に巻き込まれたくない、自分たちの日常を守りたいと、最初から拒否する態度にしても心情としては分かりすぎるくらいですが、..

長い歴史を振り返って、ヨーロッパの大国による植民地主義、帝国主義、2度の世界大戦を経て70年経った訳ですが、共産社会主義の敗北と資本主義の”行き着いた”所で今までの帳尻を合わせるかのように、これまで支配され、将棋の駒のように動かされて来た国々の人達が、こういう形でいわば人道福祉を求めて今、ヨーロッパに押し寄せて来ているというのは、まさにヨーロッパ大陸の、ヨーロッパ民族の”カルマ”なのかもしれない、と思ってしまう。(日本国のカルマは、、？)

Wessling の町中でも小さな子供達を連れてそれらしき人々を見かける様になりました。のんびりと自然の多い平和な町で散歩を楽しむ無邪気な子供の表情に(教えられているのか、誰にでもハロー、ハローと人なつこく声をかけてくれます。)本当の意味で国境を超えた、安全な暖かい社会を提供してあげたい、と願います。そして暴力が支配する国々で一刻も早く、紛争、戦争が治まり、難民達が喜んでまた故国へ戻れる時がくるようにと。

marikolog

島本真梨子

まずは、クラウドファンディングへのご協力、ありがとうございました！アゴラ通信を読んでくださっているみなさまから、たくさんの応援メッセージと、ご支援を頂きました。心より感謝申し上げます

おかげさまで今回、アゴラ音楽クラブのメンバーが描いた作品を使って、予定よりも多い、12種類の絵はがきと、30ページ（3柄×10ページ）の一筆箋を2種類制作出来ることになりました！当初は校正、印刷に25万円ほどかかる予定だったところ、インターネットから頂いた支援金と、直接頂いたご寄付、そしてメンバーや理事からの出資を合わせ、35万円に達しました！

予定よりたくさんの作品を使えることになり、メンバーそれぞれのとおきの一枚を採用することが出来そうです。



今作品の選定と、印刷データにするための作業をすすめています。

良いものが出来るように頑張ります！

出来上がりましたら、ご支援頂いたみなさまのもとへすぐにお送りします。

楽しみに待っていてください。

私のヴァイオリン教室の近況はというと、大学を出て8年、そのころから習いに来てくれている生徒たちが軒並み小学校高学年になり、この夏は二日間、フルサイズの楽器選定ツアーを組み、大人数で弦楽器工房めぐりをしてきました。（ヴァイオリンは7サイズあり、からだに合わせてサイズアップします）

たくさんの楽器を弾き比べましたが、やっぱりひとつひとつ音も弾きやすさも、見た目も何もかも違いました。値段のつきかたもイタリーかそうで無いか、新作かオールドか、ニスの良し悪しなど、いろんな理由で上下していますが、何より大事なのは毎日の練習を気持ちよくこなせる相棒かどうか。参加した子供たちは、けっこう自分の好みのはっきりした子たちばかりで、いろいろ弾いて、「絶対これ」という一本を選んでいました。（弓選びもじっくり。）

そして教室のお楽しみ会や、私をふくむ6名の講師が同志社女子大で毎年夏に開いている「こどものためのアンサンブル会」も終わりました！

息子は6ヶ月になり、おすわりも出来るようになり、家じゅうを移動するようになりました。下の歯も2本はえてきて、なんでもカミカミしようとしています。ニコニコ愛想をふりまいて、まだ悪さをしないので、こちらも笑顔がたえません。うーん、かわいい！



アゴラ太鼓結成 20 周年記念コンサート「和太“鼓”コミュニケーション」



さる9月5日アゴラ太鼓結成20周年コンサート「和太“鼓”コミュニケーション」は、おかげさまで大盛会のうちに終了いたしました。

大勢のお客様にご来場いただき、本当にありがとうございました。

お客様の声援、ゲストの皆さんの応援、ボランティアの方々のサポートがアゴラ太鼓の演奏を盛り上げて下さったこと、心より感謝申し上げます。

20年間皆が力を合わせてコツコツ積み重ねてきたもの、それを土台にさらに成長していきたいと思えます。(恵理子)



1995年 古タイヤからの出発



1997年 合成樹脂の太鼓購入



2000年 新入メンバー



2002年 アゴラ音楽クラブ結成



2007年 ちびっこチーム誕生



準備・片付けもしっかりできます



2011年 NPO 法人を設立



2015年 春のコンサート